

# 平成31年度 学校自己評価システムシート (県立与野高等学校)

目指す学校像	「二兎を追い、獲得する」をモットーとして、学力と創造力及び他者を尊重する心を育み、一人ひとりの進路実現を目指す学校
--------	---

重点目標	1 幅広い教養と確かな学力の向上を図り、進路実現を支援する。 2 自己を律し、他者を尊重する精神と、自らが主体的・能動的に行動する意識を育成する。 3 保護者・地域に積極的に説明責任を果たし、開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	8名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価	
年度目標					年度評価(2月1日現在)			実施日 令和2年2月4日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>&lt;現状&gt; 4年制大学進学を希望する生徒が約80%いる。上位大学の合格者数も年々上昇している。家庭学習時間は微増傾向にあるが不十分である。</p> <p>&lt;課題&gt; 高大接続改革・新学習指導要領等に対応する思考力を高める学習指導と生徒の自己実現力、コミュニケーション力を高める必要がある。</p> <p>また、高い志を維持して、進路の準備に取り組むよう指導する必要がある。</p>	<p>○授業充実と生徒の学力向上</p> <p>○生徒が希望する進路実現</p>	<p>①授業公開週間の実施(年2回)と授業充実を目的とした職員研修会の実施</p> <p>②家庭学習を定着させる教科等の取組</p> <p>③将来構想検討係における新教育課程・学習の充実・生きる力のさらなる検討</p> <p>①分野別ガイダンスをはじめとした進路ガイダンスの充実、模試等の進路支援ツールの活用</p> <p>②GTEC、GPS アカデミックの校内実施により、英語力、思考力の向上を目指す</p> <p>③「与野高校で身に付けたい能力アンケート」を実施することで、進路実現に必要な能力を再確認する</p>	<p>①授業公開の参加者及び職員研修会の実施状況</p> <p>②生徒アンケートの結果(授業満足度・家庭学習に対する自己評価等)</p> <p>③将来構想検討係の活動状況</p> <p>①生徒アンケートの結果(進路意識等)</p> <p>②事前学習・事後学習の取組状況</p> <p>③昨年度末の結果と今年度末の結果を比較</p>	<p>将来構想検討係を中心に高大接続改革・新学習指導要領等に対応するための検討を深めた。</p> <p>○授業公開を2回・職員研修会を1回実施</p> <p>○生徒アンケートにおける「授業満足度」は80%(前年度81%)「家庭学習が不十分」は64%(前年度61%)「進路行事への意欲的な参加」は67%(前年度65%)、「授業の予習」は21%(前年度21%)「授業の復習」は40%(前年度43%)</p> <p>○GTECを2回、GPS アカデミックを1回実施</p> <p>○将来構想検討係が「能力アンケート」を分析し、職員会議で報告</p>	B	<p>○学習活動、進路指導ともに意欲的に取り組んでいるが、家庭学習の充実までは進んでいない。高大接続改革・新学習指導要領の趣旨を踏まえ具体的な取組に関する教員研修・実践を通して、生徒の学習意欲をさらに高めることが課題である。</p>	<p>○進路指導では教師が生徒一人ひとりの内心を熱心に聞き、一緒に考えてくれている。おとなしい生徒が多いため、内面を引き出す指導を続けていただきたい。</p> <p>○「能力アンケート」を分析しながら、身に付けさせたい力の育成につなげていることは良い。将来の進路決定につながるよう指導していただきたい。</p> <p>○しっかりした学習指導を続けており、今後大きな意味での進路指導につなげていただきたい。</p> <p>○学習意欲を高めながら家庭学習の時間を充実させることが課題である。</p>	
2	<p>&lt;現状&gt; 落ち着いた校風の下で、多くの生徒が生徒会活動・部活動に取り組んでいる。一方、現状に満足し積極性に欠ける傾向がある。</p> <p>&lt;課題&gt; 「二兎を追い、獲得する」をモットーとした活動を継続、発展させるため、生徒の自己管理能力、チャレンジ力及び協働力を高める必要がある。</p>	<p>○生徒会・部活動、地域と連携した活動の推進</p> <p>○生徒の規範意識のさらなる向上</p>	<p>①学校行事・部活動をととして、生徒を積極的・主体的に活動させる指導の継続</p> <p>②学校づくり懇話会での生徒会等の活動についての意見交換</p> <p>③生徒が地域で活動する取組の拡充・実施</p> <p>①マナー指導・SNS指導等をととして、他を思いやる心の育成</p> <p>②登校指導・PTAと連携した交通安全指導・遅刻指導・整容指導の継続的实施</p> <p>③在り方生き方教育・人権教育・生活体験講話等の実施</p>	<p>①部活動及び行事の満足度・学校満足度</p> <p>②学校づくり懇話会での意見交換が活かされたか</p> <p>③保育体験や小高連携事業の充実・参加者数の増加、体験を表現する機会の設定</p> <p>①いじめアンケート等の結果及びその対応状況</p> <p>②校内外における生徒の生活マナーの状況</p> <p>③生活講話等のアンケート結果</p>	<p>学校行事・部活動等では、全国大会に複数の部活動が出場するなどの活躍があった。生徒の生活マナーは継続して良好であった。</p> <p>○生徒アンケートにおける「部活動への意欲的な取組」は76%(前年度74%)「行事への意欲的な取組」は88%(前年度89%)「学校のルールを守って生活している」は97%(前年度97%)</p> <p>○学校づくり懇話会では「身に付けさせたい力」について話し合った</p> <p>○保育体験参加者は32人、小高連携事業参加者は54人</p> <p>○いじめ認知件数は0件</p>	A	<p>○「与野高生に身に付けさせたい5つの力」を学校全体で取り組み、学校行事・部活動のさらなる充実を目指す。</p> <p>○生徒の規範意識の向上に向け、引き続きマナー指導、SNS指導、登校指導等を学校全体で行い、学びに集中できる環境を維持する。</p>	<p>○小学生との交流はすばらしい。ぜひ続けてほしい。</p> <p>○登校している生徒は大変きちんとしている。指導している教員も熱心である。感謝している。</p> <p>○大変おだやかな学校である。しかし卒業後の友人関係で苦労していると聞いている。</p> <p>○校内だけでなく校外でのマナーもよりよいものにしていただきたい。</p>	
3	<p>&lt;現状&gt; 本校の教育活動が地域に理解され、地域に根ざした学校として地域との交流を行っている。また、HPの充実や一斉メール配信が軌道にのってきた。</p> <p>&lt;課題&gt; 学校からの情報発信をより一層充実させ、保護者・地域等とのさらなる信頼関係を構築する。</p>	<p>○保護者・地域等の連携の進化</p>	<p>①ホームページ・メール配信サービスのさらなる充実</p> <p>②学校説明会の充実</p> <p>③部活動の積極的な広報</p> <p>④地域の学校等と連携拡充</p>	<p>①ホームページ更新・メール配信の頻度・回数</p> <p>②学校説明会の参加者数</p> <p>③部活動ホームページ更新の頻度・回数</p> <p>④部活動も加えた小高連携事業の充実、地域連携の取組状況</p>	<p>ホームページを月3回以上更新するとともに学校説明会では在校生が学校生活について発表するなど積極的に情報を発信した。</p> <p>○メール配信は35回</p> <p>○学校説明会参加者数は3275人</p> <p>○与野本町小学校との交流を2回、多数の部活動が地域との交流実施</p>	A	<p>○ホームページによる情報発信を継続して行う。</p> <p>○部活動を含めた地域と学校との交流を推進する。</p>	<p>○小高連携・地域連携等を熱心にやっている。今後は開催時期等を検討し、より効率的に進められるとよい。</p> <p>○中学校の生徒・保護者からも厚い信頼の声がある。</p> <p>○ホームページの行事のページ内容を膨らませるとよい。</p>	